

## 事業報告書 概要版（令和元年度）

項目	内容	
指定管理者名	社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会	
団体の概要 (R2.3.31現在)	所在地	新潟市中央区八千代1丁目3番1号
	代表者	会長 関 昭 一
	職員数	1,795人
	役員	2人
	正職員	180人
	非常勤・臨時職員等	1,613人
	設立年月日	昭和31年3月29日
	主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域、在宅福祉活動</li> <li>・ボランティア活動の振興</li> <li>・介護保険事業</li> </ul>
基本理念	子どもの状況や発達段階を踏まえながら、適切な遊び及び生活の場を提供するとともに、子どもの最善の利益を考慮し、児童の健全育成を図る。	
クラブ数及び児童数 (R2.3.31現在)	クラブ数	56クラブ（95施設）
	児童数	5,115人
職員配置	支援員192人・補助員511人	
運営	児童の健全育成	子ども一人ひとりの生活状況を把握しながら、子どもの情緒や子ども同士の関係に配慮し、子どもにとって安心・安全な遊び及び生活の環境を整え、子どもの自主性・社会性・創造性を高める取り組みを行いました。
	地域との関わり	小学校・ふれあいスクール・地域コミュニティ協議会・民生児童委員等の様々な地域の関係機関と連携を深め積極的に協力体制の構築に取り組みました。
	障がい児の受け入れ	子どもと保護者の立場に立ちながら、可能な限り受け入れを行い、小学校や専門機関等と連携を取りながら障がい児への支援を行いました。
	人材の確保と育成	サービスの質・利用者の満足度を高めるため、県の支援員認定資格研修を積極的に受講するとともに、内部研修の充実を図りました。
	要望・苦情への対応	要望や苦情及び保護者会等の要望については、積極的に意見を聞き、取り入れるべき内容については、事務局と共に対応しました。また、保護者アンケートの検証を行い、運営改善に努めました。
	危機管理体制	子どもの事故等を防止するため、いつでも起こり得るという危機意識を常に持ち、事故発生の原因を究明し再発防止に努めました。

## 事業報告書 概要版（令和元年度）

項目	内容	
指定管理者名	山の下地区コミュニティ協議会	
団体の概要 (R2.3.31現在)	所在地	新潟市東区古川町4番12号
	代表者	会長 細野 仁
	職員数	
	役員	22人
	正職員	4人
	非常勤・臨時職員等	5人
	設立年月日	平成19年4月1日
	主な業務内容	○自治振興・地域福祉・交通安全・ひまわり・こども未来・防災防犯の6部会を設置し地域との連携を深めまちづくり活動を推進する。
基本理念	放課後児童の安全確保、遊び及び生活の場を提供し保護者の代わりに地域における健全育成を図る。	
クラブ数及び児童数 (R2.3.31現在)	クラブ数	1クラブ
	児童数	44名
職員配置	■正規職員 嘱託 2名 ■ 臨時支援員 加配・土曜・短時間支援員	
運営	児童の健全育成	個の尊厳を守り傾聴の姿勢を基本に理解と安心を与える育成を図ります。 自ら考え行動できるように援助する。子どもの自主性・社会性・創造性を養う。 支援員や友達との安定した関係の中で怪我や失敗も重要な学習の機会として反省を促す支援を行いました。
	地域との関わり	小学校・ふれあいスクール・民生児童委員等の様々な地域の関係機関と連携を深め、避難・防災訓練の参加と通して顔の見える事業を行う
	障がい児の受け入れ	学級担任や特別支援学級担任と情報を共有し協力し支援を行う。 児童にとって最適な方法を保護者と一緒に考える。
	人材の確保と育成	地元地域の人材活用を基本に知識と理解及び情熱を有する 質の高い職員を採用する。定期的に研修及び会議に参加し質の高いボランティア精神の育成を行う
	要望・苦情への対応	保護者や地域の要望は積極的に意見を拝聴しその後の事業に取り入れる検討を行う。受付窓口から解決窓口まで体制整備を図ることで迅速に対応する。
	危機管理体制	不慮の事故、発生を常に意識し防止と安全確保を万全に期します。

## 事業報告書 概要版（令和元年度）

項目	内容	
指定管理者名	特定非営利法人新潟市木戸地域コミュニティ協議会木戸ひまわりクラブ運営委員会	
団体の概要 (R2.3.31現在)	所在地	新潟市東区中山4丁目-2番-6号
	代表者	理事長 長谷川 徳昭
	職員数	29人
	役員	9人
	正職員	3人
	非常勤・臨時職員等	26人
	設立年月日	平成26年4月1日
主な業務内容	木戸ひまわりクラブの運営管理	
基本理念	放課後の時間において保護者の代わりに家庭的機能の補完をしながら「生活」の場を提供し、「遊び」及び「生活」を通して子どもの健全育成を図ること。	
クラブ数及び児童数 (R2.3.31現在)	クラブ数	1クラブ(2施設)
	児童数	117人（前年比）2人
職員配置	正規支援員 委嘱職員 第1 1人 第2 2人 補助員 正規代替 2人 加配 4人 日々代替 18人	
運営	児童の健全育成	子ども一人ひとりの生活状況を把握しながら、子どもの情緒や子ども同士の関係にも配慮し、安心・安全な遊び及び生活の環境を整え、自主性・社会性・創造性を養う。支援員や友達との安定した関係の中で意欲的に遊びを楽しみ遊びの中できまりのある生活の大切さが身につくよう配慮して援助を行いました。
	地域との関わり	学校や学校支援ボランティア、民生児童委員、自治会等、地域との連携を深め、ふれあいスクールとは一体化して活動を行いました。東区社協より助成を受け、ふれあいスクールとの共催で「新年もちつき大会」を行いました。
	障がい児の受け入れ	子どもと保護者の立場に立ちながら可能な限り受け入れを行い、小学校や専門機関と連携を取りながら障害児への支援を行いました。
	人材の確保と育成	利用者から安心安全に利用していただくため、子どもの安全管理や生活および遊びの支援等の研修の充実に努めました。
	要望・苦情への対応	要望や苦情については随時意見を聞き、取り入れるべき要望については積極的に対応し、苦情については、十分に状況を聞き、事務局や第三者委員と共に問題点の課題解決に取り組みました。
	危機管理体制	子どもの事故等を防止するため、いつでも起こり得るという危機意識を常に持ち、事故発生の原因を究明し再発防止に努めました。年2回避難訓練を行い、支援員は学校、地域の防災訓練に参加しました。保護者には、配信メールで連絡が取れるような体制を組みました。

## 事業報告書 概要版（令和元年度）

項目	内容	
指定管理者名	社会福祉法人下山福祉会 下山ひまわりクラブ	
団体の概要 (R2.3.31現在)	所在地	新潟市東区太平2丁目18-8
	代表者	理事長 村山美穂子
	職員数	15人
	役員	2人
	正職員	6人
	非常勤・臨時職員等	7人
	設立年月日	平成28年4月1日
主な業務内容	放課後児童の健全育成	
基本理念	地域の児童が下校後、安心できる環境で楽しく過ごす。	
クラブ数及び児童数 (R2.3.31現在)	クラブ数	2施設
	児童数	114人
職員配置	支援の単位ごとに2名以上の支援員を配置した。	
運営	児童の健全育成	児童の健康、情緒の安定など、日々の心身の健康状態を観察、把握し、保護者との連携を図りながら保育支援をした。
	地域との関わり	地域の民生委員、ボランティアの方との交流会を計画実施した。
	障がい児の受け入れ	援助を必要とする児童については、保護者と面談の機会を設けながら、援助の仕方、クラブでの様子を伝え、保護者と共有しながらすすめた。
	人材の確保と育成	最低限の職員配置は充足していた。研修、職員会議を実施しながら、資質向上に努めた。
	要望・苦情への対応	要望、苦情、意見については、真摯に受け止め、早急に対応した。
	危機管理体制	危機管理を常に意識しながら、危険マップを作成し、職員会議に諮りながら体制を工夫した。避難訓練を3回行った。

## 事業報告書 概要版（令和元年度）

項目	内容	
指定管理者名	新潟県ビル管理協同組合	
団体の概要 (R2.3.31現在)	所在地	新潟市中央区東大通2丁目2番18号
	代表者	代表理事 上田 正昭
	職員数	（組合事務局） 2人
	役員	（組合理事） 6人
	正職員	（組合員14社総数） 687人
	非常勤・臨時職員等	（組合員14社総数） 2,120人
	設立年月日	昭和51年12月24日
	主な業務内容	組合員のために行う、建物サービス及び警備業法第1条第1項第1号及び第2号に規定する警備業務ならびに放課後児童健全育成事業の共同受注他
基本理念	常に児童の健康と安全確保に配慮し、放課後の時間帯における家庭的機能の補完により、「生活の場」及び「遊び」を通して、児童の健全育成を図る。	
クラブ数及び児童数 (R2.3.31現在)	クラブ数	8クラブ（11施設）
	児童数	595人
職員配置	95名（正規支援員 21名 / 補助員 74名）	
運営	児童の健全育成	児童の人権と人格を最大限尊重して常に傾聴の姿勢を基本とし、子どもの年齢層による発達過程と個々の養育環境を十分に理解し、個別かつ適正な育成を図る取り組みを行いました。
	地域との関わり	日常的に子どもの安全と健康に関する情報交換を行い、学校施設の利用に関して協力体制の構築を図るとともに、一部クラブでは保護者解放を目的としたファミリーDayを定期的で開催し、多数の参加を頂きました。
	障がい児の受け入れ	受入れにあたっては、子どもと保護者の立場に立ち、障がいの程度、発達状況等、個々の状況を的確に捉えた育成とより良い支援や問題の解決方法を検討し取り組むとともに、保護者へのヒアリングにより事前認知を徹底し、十分な配慮を心掛け対応しました。
	人材の確保と育成	提供すべきサービスの質・利用者の満足度を高めるため、内部研修の充実を図るとともに、県の支援員認定資格研修等の外部研修へも積極的に受講参加しました。
	要望・苦情への対応	要望・苦情及び保護者会等の発言については、積極的に意見を聞き、常に迅速かつ適切に対応しました。また、運営内容や施設・設備等に係る保護者アンケートを実施し、利用者満足度の把握及び向上に向けた整理を行いました。
	危機管理体制	常に起こりうる危機意識を持ち、クラブごとに定期的な防災訓練を行うとともに、危機管理マニュアルを整備し、内部研修においては周知徹底、救命救急法・応急手当の習得に取り組みました。

## 事業報告書 概要版（令和元年度）

項目	内容	
指定管理者名	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ	
団体の概要 (R2.3.31現在)	所在地	東京都豊島区東池袋1-44-3 ISPタマビル
	代表者	代表理事 田嶋 羊子
	職員数	3,911
	役員	17人
	正職員	1,995人
	非常勤・臨時職員等	1,916人
	設立年月日	平成13年9月13日
主な業務内容	①介護保険法に基づく介護サービス事業 ②高齢者・障害者保健福祉サービス事業 ③保育、学童保育、子育て支援に関する事業 ④地域福祉のための人材を育成するための研修・講習会等の事業 ⑤地域に関わる仕事おこしを促進する講座や研修、相談事業 ⑥障害者自立支援法による介護給付事業・訓練給付事業 ⑦地域活動支援センター、移動・相談・居住支援等の生活支援事業 ⑧指定管理者制度による公共施設等の管理運営事業 等	
基本理念	子どもと親、地域と支援員とが主体的に運営に参加し、まちぐるみで支え合う子育て支援の拠点となるひまわりクラブのを目指します。	
クラブ数及び児童数 (R2.3.31現在)	クラブ数	1クラブ
	児童数	132人(第一:73人、第二:59人)
職員配置	嘱託支援員:各クラブ2人、臨時支援員(第一:8人、第二6人)	
運営	児童の健全育成	一人ひとりが安心して過ごすことができるよう配慮しました。子どもたちの発達状況に合わせた遊びや学習、創作活動の取り組みを行いました。メリハリある生活を心がけ、子どもたちが主体的に活動を展開できるよう支援しました。
	地域との関わり	小学校との情報交換を密にし、近隣施設とも連携し、子どもたちを地域ぐるみで見守る体制をつくりました。保護者会を開催すると共に親子行事を企画し保護者との連携を深めています。南区内の学童クラブとの情報交換を積極的に行いました。
	障がい児の受け入れ	子どもたちが安心して過ごすことができるよう、保護者や学校等と連携を図り受入を行いました。他の児童との関わりも大切にしお互いに成長し合える関係を築きました。
	人材の確保と育成	研修に積極的に参加し、質の向上に努めました。また、支援員間の話し合いを密にし、より良いクラブ運営を行うための意見交換を行いました。
	要望・苦情への対応	要望や苦情については丁寧に対応し、解決に向けて対応をしました。利用者アンケートを全家庭対象に実施し、結果を公表するとともに、改善に向けて取り組みを行いました。
	危機管理体制	避難訓練や不審者対応等の訓練を行い、緊急時に備えました。また、怪我や事故防止のため環境整備に努め、児童が過ごしやすい環境を整えました。

## 事業報告書 概要版（令和元年度）

項目	内容	
指定管理者名	社会福祉法人新潟南福祉会	
団体の概要 (R2.3.31現在)	所在地	新潟市西蒲区称名825番地
	代表者	理事長 朝妻 茂行
	職員数	400人
	役員	15人
	正職員	263人
	非常勤・臨時職員等	臨時職員41人・パート職員72人・再雇用職員9人 計122人
	設立年月日	1994年7月21日
	主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第1種社会福祉事業 特別養護老人ホーム・ケアハウス等の経営</li> <li>○第2種社会福祉事業 老人短期入所・老人デイ事業 小規模多機能型介護事業、認知症対応型居宅事業の経営</li> <li>○公益を目的とする事業 居宅支援事業・地域包括支援センター 放課後児童健全育成事業の経営</li> </ul>
基本理念	思いやりと人の痛みのわかる子どもの育成と、安心して過ごせる安全な居場所づくりに努める。保護者への子育て支援を図り、地域との密接な連携を実践する。	
クラブ数及び児童数 (R2.3.31現在)	クラブ数	2
	児童数	78人
職員配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>■正規支援員 7名（午前中、介護補助）</li> <li>■補助支援員 5名</li> </ul>	
運営	児童の健全育成	児童の発達段階及び発達過程、特徴やはたらきかけ等を理解し育成にあたる。異なる学年の仲間、支援員や地域の人達等、多くの人との関わりや活動を通し自主性や社会性、創造性が育つ生活の場となるよう努めました。
	地域との関わり	小学校、民生児童委員等の地域との連携やふれ合いを通じて、人の心のぬくもりの中で子ども達が育つよう地域のつながりを大切に活動を行いました。
	障がい児の受け入れ	障がい児童の受け入れを行い、特別な支援が必要な児童については、児童と保護者の思いをくみ取りながら小学校等専門機関と連携を取りながら支援を行いました。
	人材の確保と育成	サービスの質・利用者の満足度を高めるため、児童の安全管理や生活および遊びの指導等の研修に積極的に参加し充実に努めました。
	要望・苦情への対応	要望や苦情及び保護者会等の要望については、積極的に意見を聞き、取り入れるべき内容については、事務局や市の子ども未来課と共に対応しました。
	危機管理体制	子どもの事故等を防止するため、いつでも起こり得るという危機意識を常に持ち、事故発生の原因を究明し再発防止に努めました。

## 事業報告書 概要版（令和元年度）

項目	内容	
指定管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社	
団体の概要 (R2.3.31現在)	所在地	〒182-0022 東京都調布市調布ヶ丘三丁目6番地3
	代表者	代表取締役 関口 昌太郎
	職員数	9,525人
	役員	4人
	正職員	316人
	非常勤・臨時職員等	9,205人
	設立年月日	昭和61年11月1日
	主な業務内容	①給食業務(学校給食S61/11、保育園給食H13/4、社員食堂) ②図書館業務(H14/7) ③人材派遣業務(H7/12OA機器操作、受付、電話交換、秘書、ファイリング、経理) ④寮・保養所管理業務(S61/11社員寮・研修施設・保養所等の管理及び調理サービス) ⑤管理サービス業務(S61/11メールサービス、ロビー案内、清掃) ⑥ビルメンテナンス業務(S61/11一般清掃、特別清掃、電気・空調設備の運転管理) ⑦警備業務(建物警備、駐車場管理、防災管理)
基本理念	「はぐくむ、大切なことのすべて」	
クラブ数及び児童数 (R2.3.31現在)	クラブ数	新潟市学童22クラブ
	児童数	1,608人
職員配置	常勤58名 非常勤120名	
運営	児童の健全育成	①健全育成プログラム…外遊び、内遊び、表現活動など ②学習支援…自主学習、グループワーク、サークル活動など ③生活支援…食育通信の配布や活動実施展開、家庭との情報交換、専門機関との連携など楽しさの中に学びがある活動を目指し子どもたちの総合的なサポートを行っております。
	地域との関わり	子どもたちが心身ともに健やかに成長できる環境づくりとして市内公共施設、地域住民や関係機関と協力体制を確立し、安全の確保や子ども達を地域で育てる環境整備に努めております。
	障がい児の受け入れ	①実態把握(学校・保護者・新潟市との連携) ②指導実践(事前検討、対応、改善を繰り返す) ③教育体制(本社主導の研修、支援員育成プログラム) ④健常児とのかかわり(行事・プログラムを通じた体制作り)
	人材の確保と育成	児童福祉専属の新卒者の積極的な採用や長期休暇時は、管轄する営業所や本部、近隣受託施設(主に学校給食)からの応援(バックアップ体制)をしております。 施設間の情報共有として社内インフラ「学童ネット」を導入し支援員間の連携しております。
	要望・苦情への対応	入社時及び年1回「礼節・マナー研修」を実施し「人間力の向上」を目指し、苦情の未然防止に努めております。
	危機管理体制	「安全・危機管理マニュアル」「災害対策マニュアル」等を用いた研修会を実施しております。



## 事業報告書 概要版（令和元年度）

項目	内容	
指定管理者名	(株)Dream Advance ゆめのき学園	
団体の概要 (R2.3.31現在)	所在地	新潟市西区青山1-1-17 ヤマトビル1階
	代表者	代表取締役:喜多村哲平・ゆめのき学園:羽賀万起子
	職員数	53名
	役員	4名
	正職員	8名
	非常勤・臨時職員等	41名
	設立年月日	2014年3月5日
主な業務内容	①新潟市指定管理事業(放課後児童健全育成事業) ②認可外預かり事業(プレこども園) ③多胎支援事業 ④習い事教室事業	
基本理念	自分で考え 自分で選択し 未来を創る力を育む	
クラブ数及び児童数 (R2.3.31現在)	クラブ数	2クラブ
	児童数	269名(124名、145名)
職員配置	各施設に放課後児童支援員4名、補助員4名	
運営	児童の健全育成	クラブの中に楽しみを見つけられるような取り組み、長期休み中は普段出来ない事に取り組む。また自然に親しむ活動や自分のやりたい事をより集中できるような取り組みを実施。
	地域との関わり	学校、町内会長に定期的に挨拶・連携を取り、地域全体で子ども達を見守ることができるようにしていく。学校の行事への参加やふれあいスクールと一緒に参加することで、学校、地域、保護者との関係を作っていく。
	障がい児の受け入れ	その児童の程度を見極め、学習や研修を積み重ねていくと共に、支援員全員が対応できるように努める。障害のある子ども達ができるべく過ごしやすいような環境づくり、掲示物の工夫をする。
	人材の確保と育成	資質向上や事業が向上していくように研修を実施。研修はクラブ児童の現状に基づいたものを基本とするが、造形、障害(福祉)、基本、遊び等バランスの取れた内容で組み込んでいく。
	要望・苦情への対応	平日頃より利用者の方々の気持ち、思いを理解し、寄り添うことを大切にし、苦情につながる前にきちんと受け止めることを大切にす。職員間での情報共有、クラブを越え事務局、責任者同士での支えあいを大切に、皆で一人ひとり、一家庭一家庭を大切にす。第三者委員を設け、外部の方への相談窓口を設置。
	危機管理体制	緊急時の対応については定期的に職員に研修、また保護者会等で保護者に周知していく。子どもが自ら安全確保ができるように学びの機会を持つ。毎月支援員全員で施設のチェック、緊急持ち出しのチェックを行う。